

いつはりの月 飯野與田郎

(羽神社の巻)

岩城十七代城主清胤の家臣に白土小次郎といふ者があつた。素より八雲嶽樂師に祈願をこめておつたが真心が通じた。そのかゝる懐妊しやがて月満の夜、まゝ岩城氏の一族として彼の家は近隣にうたわわと繁栄した。その子孫は片手は握つていて開けなかつた。不思議に思つて数日後、静かに掌を開けたところ掌中に隆忠の二字が書てあつた。隆忠の子孫に奇異な事實に驚き、その子孫隆忠と名付けられた。隆忠は家臣を集めて計略を練つていたが月の光に照らされては上手な戦が出来ない。期して隆忠を攻め止むと、衆議一決した。

小名濱の選挙風景

早くも街頭演説を開く

小名濱町では三日の選挙告示と同時に立候補届出を待つた街頭演説までが展開する。云々珍風景に均しい。演説は候補出で居る第一番乗りは飯塚勝(新)比佐政種の両氏で事務所看板の一番早いのは社会党公認候補小野幸次郎氏で、其後大空に摩する三角形の看板に社会党公認候補小野幸次郎氏と書いた看板を建て町民の眼をそばつた。街頭演説のナゾはワシは縣議大井川正巳氏であつた。この積極的な運動に刺激され、活発なる運動を演説して居る。今後は町議選が如何に混戦であるかは、二萬七千町民をして候補小野幸次郎氏で、其後大空に摩する三角形の看板に社会党公認候補小野幸次郎氏と書いた看板を建て町民の眼をそばつた。

新緑の中禪寺湖遊覧

國鐵平營業所で団体募集

國鐵平營業所では新緑の中禪寺湖を訪ねて来る五月一日、一泊二日の集團旅行を試みている。新しく出来た中禪寺湖温泉に日光の山々の緑を求めて一泊する快適な旅行である。要項左の通りである。

△計費千九百圓
△平發五月一日午前六時三十分
△日光、中禪寺湖、湯河原方面
△定員五百名

郡内婦人會長 行幸豫算案を協議

石城郡内各町村の婦人會長行幸豫算案を協議した。行幸豫算案を協議した。行幸豫算案を協議した。

三月中の赤痢患者

平保健所管内で二十三名

平保健所では赤井日賣嶽に集團赤痢が發生以來各地に相當数の赤痢が發生して居る。この一連の爲めに、自治体の赤痢がまん延されて居る。管内の三月中赤痢發生者は二十三名で、昨年三月の發生は全然無く、本年は如何に赤痢がまん延されて居るか、立證出来る。

小名濱の野球大会

八日第一小校で開く

小名濱町野球協會では来る八日午前十時から第一小學校グラウンドで町内東西野球大會を開催する。

勿來公安委員會 吉田さんを表彰

勿來町公安委員會では三日町内各農業者吉田明(四君)を防犯協力者として表彰した。同君は去る三月十五日自宅附近の農家青留光義を窃盗し逃走せんとした。野榮行商竹義を格斗の末捕えたものである。

各種優秀品豊富
生地と既製服
高級用革カバン洋品類
高紳士 勉強て評判の店
鈴木勘氏商店
平市三丁目平和通 電話732

7日~13日迄
可憐美空の名演技!
港の温泉町に再びめぐる
父と子の再會……
父戀し
主 若原 雅夫 三宅 邦子
演 美空ひばり 櫻 ひと子
平 館

ました!
お花見の折など
殊に勉強いたします
天ぷら花長
小料理
平市新田町電一五二二

屋内全部
櫻花爛漫
御料理 仕出し
第一公園入口正面通り 電話二七三番
平文化裏通り

松竹大船が陽春に贈る
川崎弘子 三十名
上演狂言
松竹大船不朽の名作!!
現代劇 人妻 全通
現代劇 眞実 二幕
現代劇 偶生 五幕
現代劇 偶生 五幕
四月八日 舊三月三日
ヒル 一時 六時
平市公會堂
主催 大宮孝志後援 松竹大船撮影所 風戸興行社



文藝欄

見たことのない
私
四度目の春
私
幾年振りか
碧い海
日本の船
潮風にそよぐ
日の丸を見た
胸が
しめつけられるやうな
激しいものが
こみあげて来た
何度も
眼をこすつて
幾年か
戦友と語り
胸裡に描いた
この光景を見渡る
船腹に白く
日本文字が浮ぶ
「高砂丸」
この船が明日は
幾千かのはらからを
日本に運んでゆく
夢のやうな気がする
入江に西陽が映えて
夕靄が海上を包む
船の灯が
波間にひかる
まるで
故郷への連想を
つないでくれるやうに……

ヨシタロウ
シベリヤの大地より
ダモイ
ナホトカの
春が来ると
船がやってくる
話にだけ
聞いても又一度も